

# 大崎市民病院 鹿島台分院

令和6年度  
臨床指標



# 臨床指標とは

臨床指標（クリニカル・インディケーター）とは、病院の機能や診療の状況などについて具体的な数値として示したものです。

臨床指標を分析することで課題や改善点を見つけ出し、医療の質の向上に役立てるとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

当院では、本指標の分析と公表を通じて、最適な医療を提供できるよう医療の質の向上に取り組んでまいります。

## 目次

### 外来

■ 1 外来延べ患者数	1
■ 2 生活習慣病療養計画書の発行件数	1
■ 3 救急車受入れ件数	2
■ 4 予防接種の実施件数	2

### 入院

■ 5 入院延べ患者数	3
■ 6 新入院者数	3
■ 7 退院者数	4
■ 8 退院先（転帰先）	4
■ 9 在宅復帰率	5
■ 10 重症、医療・看護必要度割合	5
■ 11 平均在院日数	6
■ 12 病床稼働率	6
■ 13 主病名上位	7
■ 14 入院患者年齢層	7

■ 15 入院患者居住地	8
■ 16 入院目的別	8
■ 17 退院サマリー作成率	9

### 外来・入院

■ 18 病院満足度	9
------------	---

### 医療安全

■ 19 身体拘束実施率	10
■ 20 転倒転落発生率	10
■ 21 インシデントレポート提出数	11

### 褥瘡

■ 22 褥瘡推定発生率	11
■ 23 褥瘡改善率	12

### 診療機能

■ 24 栄養指導件数	12
■ 25 薬剤管理指導数	13
■ 26 検査件数	13
■ 27 放射線撮影件数	14
■ 28 入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数	14

### 地域連携

■ 29 紹介患者数	15
■ 30 レスパイト入院件数	15
■ 31 地域連携への取り組み	16

### 在宅医療

■ 32 訪問診療件数	16
■ 33 訪問看護件数	17
■ 34 訪問リハビリテーション件数	17

## 1 外来延べ患者数

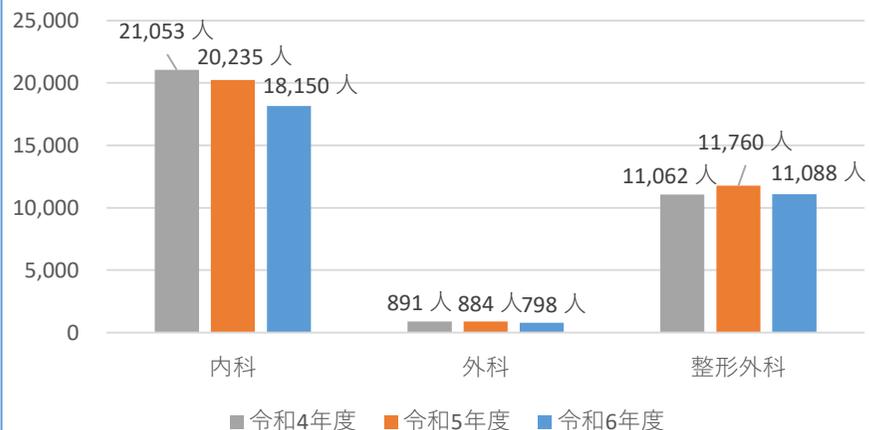
### 指標の説明

外来を受診された患者さんの数を表しています。

### 計算式

初診患者数+再診患者数

外来延べ患者数（単位：人）



### 考察

従来は、患者さんが月に1回以上来院する管理スタイルであったが、令和6年2月より予約制を導入したことで、より患者さんの状態に沿った処方管理（長期・リフィル）が可能となりました。患者数は減少したものの、患者さんの利便性が向上したことにより、適正な外来管理が実現できたと考えます。

令和7年度からは、更なる利便性向上のため、待ち時間短縮にも取り組んでまいります。

## 2 生活習慣病療養計画書の発行件数

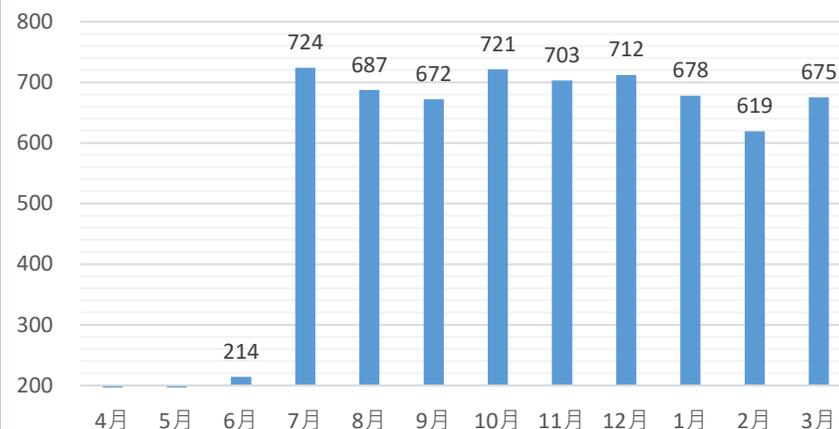
### 指標の説明

生活習慣病療養計画書とは、高血圧症・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病の患者さんに対し、治療目標や生活習慣の改善目標を共有することで、患者さん自身が療養に積極的に関わることを促し、自己管理能力を高めるのに役立ちます。

### 計算式

生活習慣病療養計画書の発行数

生活習慣病療養計画書（単位：件）



### 考察

令和6年度診療報酬改定において、生活習慣病管理料（Ⅱ）が新たに新設されました。当院では、患者さんとの生活習慣の改善目標を共有することで、生活習慣病の悪化を防ぎ、健康寿命を延ばすことにも繋がることから、対象となる患者さんには、積極的に生活習慣病療養計画書の発行に取り組んでおります。

令和7年度も引き続き、地域のかかりつけ医として、全力で取り組んでまいります。

### 3 救急車受入れ件数

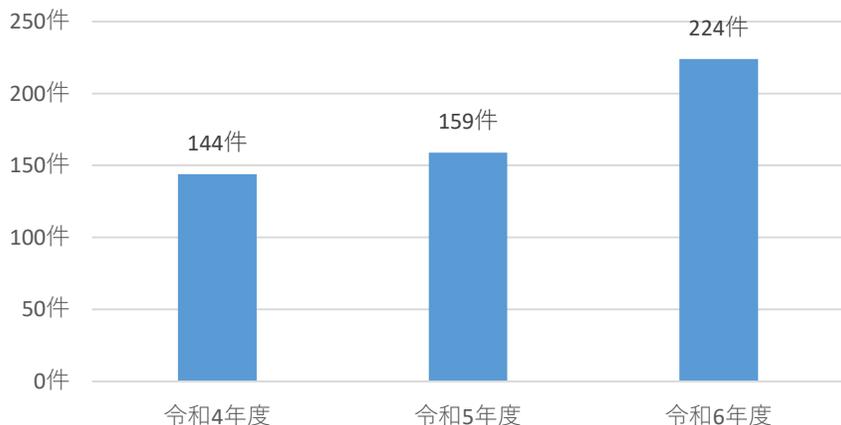
#### 指標の説明

当院に救急搬送された患者数（直接来院含む）を表しています。

#### 計算式

救急搬送の延受入件数

救急車受入れ件数（件）



#### 考察

令和6年度は、日中の救急患者を積極的に受け入れるなど、救急受入体制を構築したことにより、前年度実績を大きく上回る結果となっております。

令和7年度も引き続き救急受入体制を維持し、医師の働き方改革も踏まえながら、地域の安心に繋がるよう全力で取り組んでまいります。

### 4 予防接種の実施件数

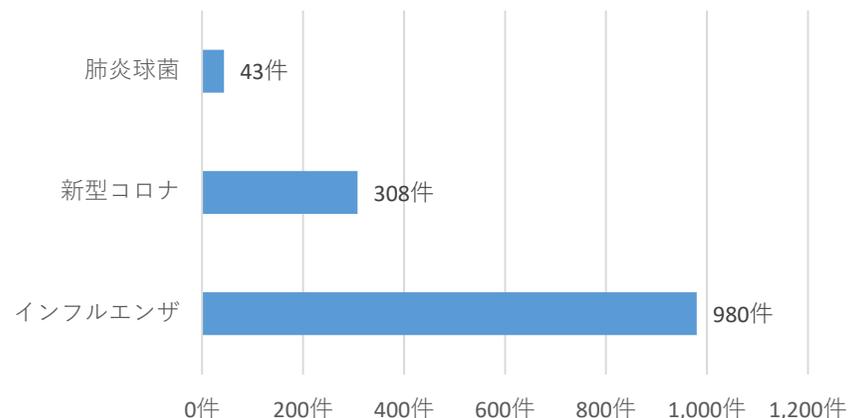
#### 指標の説明

予防接種で受診された患者さんの数を表しています。

#### 計算式

予防接種の実施件数

予防接種の実施件数（単位：件）



#### 考察

令和6年度の予防接種では、季節性インフルエンザワクチンの接種割合が多く、次いで新型コロナワクチン接種の順となっております。

令和7年度は、带状疱疹ワクチンも新たに取組み、地域医療の感染症予防に努めてまいります。

## 5 入院延べ患者数

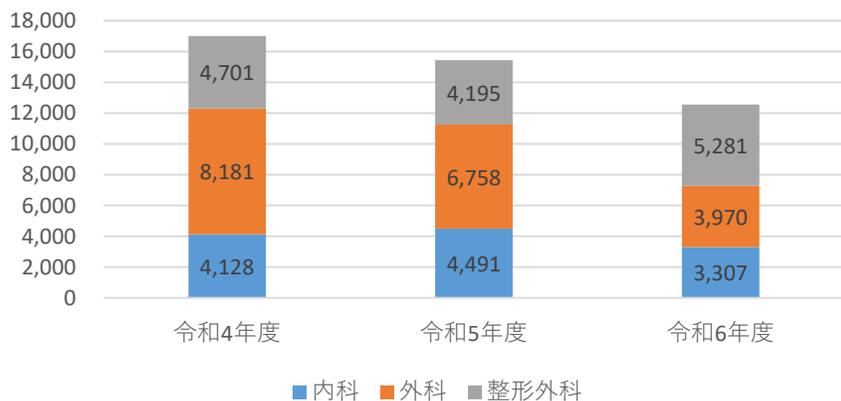
### 指標の説明

在院患者数（24時現在入院している患者さん）と退院患者数を合計した延べ人数を表しています。

### 計算式

在院患者数＋退院患者数

入院延べ患者数（単位：人）



### 考察

令和6年2月からケアミックス型病棟の弾力的運用（58床→40床）を開始し、令和6年度稼動病床数は40床で運用しております。これにより、入院延患者数は大幅に減少しました。

令和7年度も、稼動病床数40床を維持し、地域の医療ニーズに合わせながら、適切な医療提供ができるように体制維持に努めてまいります。

## 6 新入院者数

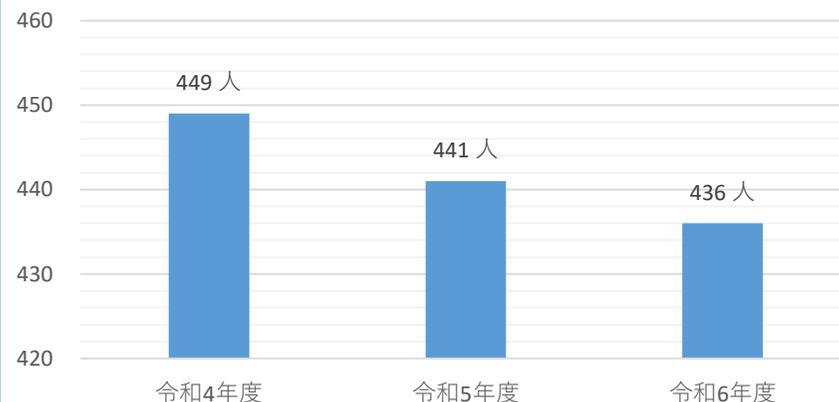
### 指標の説明

新たに入院された患者さんの数を表しています。

### 計算式

入院ごとにカウントした患者数

新入院数（単位：人）



### 考察

令和6年度は、大崎市東部地域のかかりつけ医及び本院後方支援病院として、本院との機能分担及び連携強化を図ってきました。

稼動病床数40床の運用により、入院延患者数は減少したものの、令和7年度も引き続き、本院との機能分担及び連携強化を維持してまいります。

## 7 退院者数

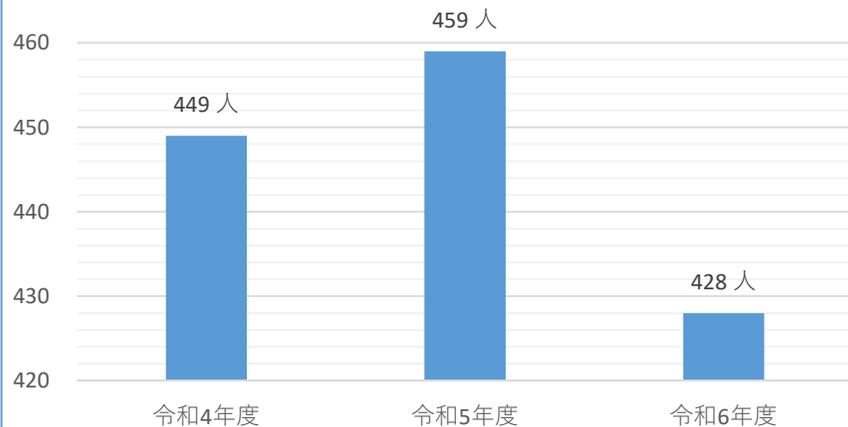
## 指標の説明

退院された患者さんの数を表しています。

## 計算式

退院ごとにカウントした患者数

退院数（単位：人）



## 考察

令和6年度稼働病床数は40床で運用しており、退院延患者数は減少しました。しかし、本院での急性期医療を経て、状態が安定した患者さんへのリハビリテーション提供等により、多くの患者さんがご希望の療養先に退院しております。

## 8 退院先（転帰先）

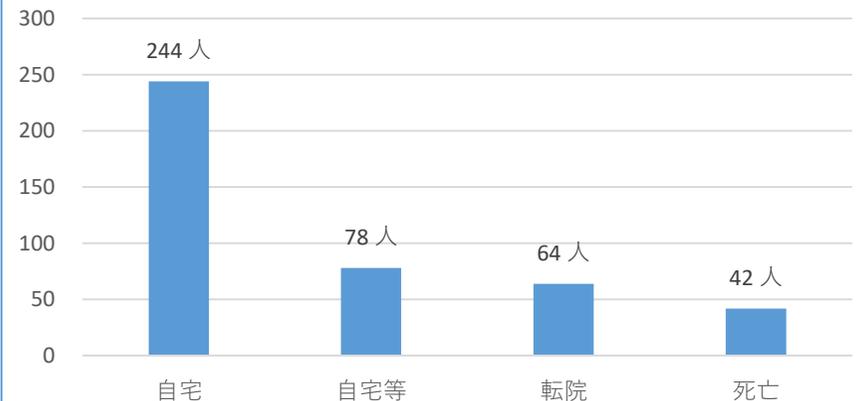
## 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける退院先（転帰先）の患者数を表しています。  
\*自宅等とは、自宅や居宅系介護施設等をいい、自宅扱いとなります。

## 計算式

退院先別の入院患者数

退院先（単位：人）



## 考察

総退院患者の約75%が自宅及び自宅等に退院しています。  
令和7年度も、病状やご希望に合わせた療養先に退院できるように支援してまいります。

## 9 在宅復帰率

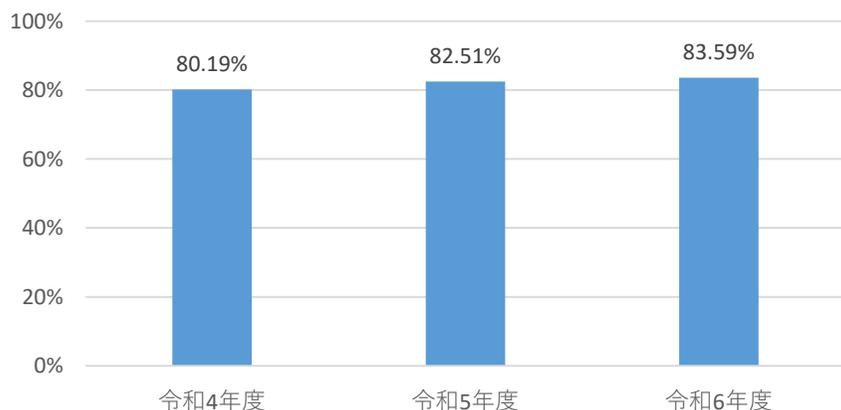
### 指標の説明

退院患者に占める、自宅等に退院するものの割合を示しています。ここでは自宅だけでなく居宅系介護施設等へ直接退院した場合も在宅復帰されたこととなります。

### 計算式

退院先が「自宅等」の患者数÷退院患者数×100  
※ただし、死亡退院、再入院の患者は分子分母から除く

在宅復帰率（％）



### 考察

令和6年度では、入院日から退院後の生活について希望や要望を伺い、不安なく退院できるよう、積極的に退院支援介入を実施しております。結果、例年より多くの方が、自宅等に退院されております。

令和7年度も引き続き、積極的に退院支援の介入に努めてまいります。

## 10 重症、医療・看護必要度割合

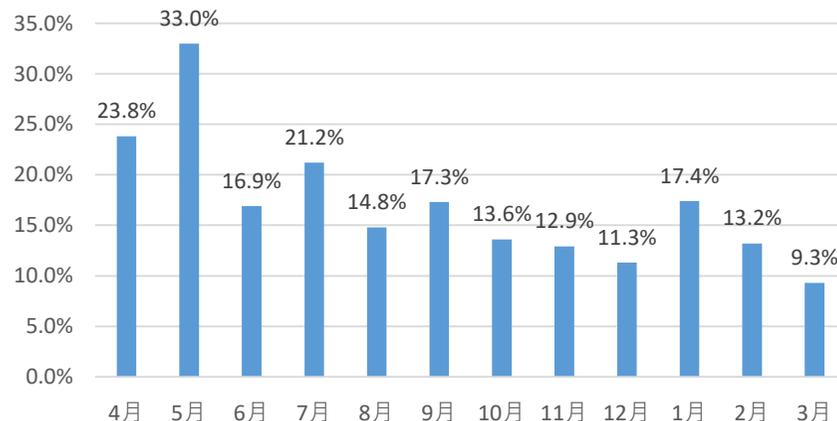
### 指標の説明

患者の病状、処置の必要性、日常生活動作の自立度などを観察し、評価基準に基づいて、それぞれの項目に点数をつけて算出する指標となります。

### 計算式

看護必要度を満たす患者の延べ人数÷在院延べ患者数×100

重症、医療・看護必要度割合（単位：％）



### 考察

当院は地域包括ケア病棟入院料1を算定しており、看護必要度を満たす患者の割合10%以上が要件とされています。

主に、創傷処置や酸素投与、輸血・麻薬の管理等が必要な患者が多いと看護必要度割合も上昇します。

## 1.1 平均在院日数

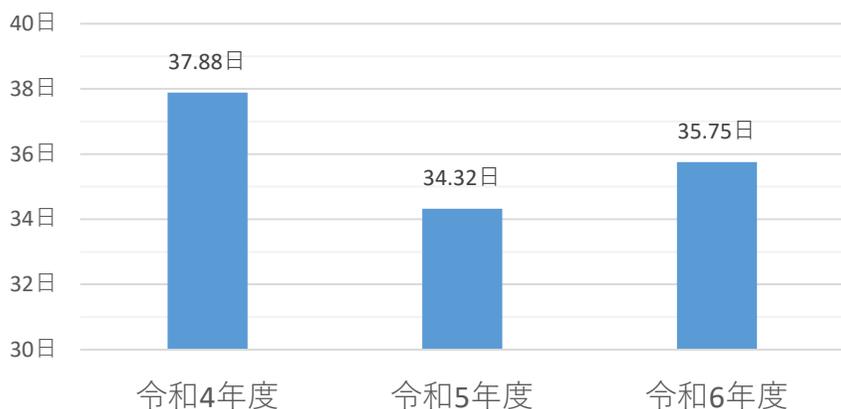
### 指標の説明

患者さんが入院してから退院するまでの日数を平均して算出したものです。平均在院日数は、病棟の回転率や入院診療の効率性を示す指標です。

### 計算式

在院患者延べ数 ÷ (新入院患者数 + 退院患者数) × 1/2

平均在院日数 (単位：日)



### 考察

地域包括ケア病棟40床の平均在院日数を表しています。地域包括ケア病床は60日まで入院が可能となっておりますので、今後も、その期間の中で、適切な医療とリハビリテーションの提供により、在宅復帰を目指します。

## 1.2 病床稼働率

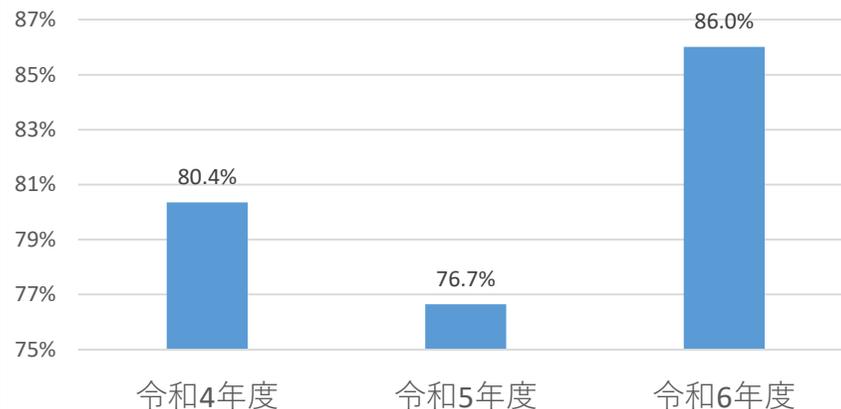
### 指標の説明

病床がどの程度効率的に稼働しているかを示す割合です。100%に近いほど空床がない状態で病床が利用されていることになります。当院は80%を目標にしています。

### 計算式

(延べ入院患者数 ÷ 稼働日数 × 稼働病床数) × 100

病床稼働率 (単位：%)



### 考察

令和6年度から稼働病床40床となったことにより、これまで以上、入退院調整に力をいれてまいりました。結果、病床稼働率は例年より高い水準となっております。

令和7年度は、令和6年度以上の病床稼働率を目標とし、地域のかかりつけ医として、また、本院の後方支援病院として積極的な受け入れを継続してまいります。

## 1.3 主病名上位

### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける主な疾病について、症例数で上位10種類を表しています。  
(合併症や複数の治療の場合は、最も治療を要した重い疾病をとりあげています。)

### 計算式

過去3か年の上位疾病症例数

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
症例名	症例数	症例名	症例数	症例名	症例数
大腿骨の骨折	53	大腿骨の骨折	49	大腿骨の骨折	63
誤嚥性肺炎	46	誤嚥性肺炎	47	誤嚥性肺炎	39
腰椎・骨盤・恥骨・座骨等の骨折	36	腰椎・骨盤・恥骨・座骨等の骨折	26	腰椎・骨盤・恥骨・座骨等の骨折	22
脳梗塞	26	心原性脳塞栓症	26	脳梗塞・脳塞栓症	21
尿路感染症	18	うっ血性心不全	16	うっ血性心不全	18
肺炎(病原体不詳)・気管支肺炎	16	肘部・手根管症候群	15	手根管症候群	15
心不全	15	尿路感染症	13	肺炎(病原体不詳)	14
胃癌	12	腰部脊柱管狭窄症	12	尿路感染症	12
腰部脊柱管狭窄症	10	胸椎圧迫骨折	12	膝蓋骨骨折	12
膝・頸骨・腓骨骨折	10	脱水症	11	変形性股関節症	10

### 考察

直近3年では、大腿骨の骨折・誤嚥性肺炎が上位となっております。  
内科領域疾患では、心不全・脳梗塞・尿路感染症等の入院が多く、整形外科領域疾患では、胸腰椎・骨盤骨折等の疾患も多く入院しており、多くの患者さんが、自宅等に復帰しております。

## 1.4 入院患者年齢層

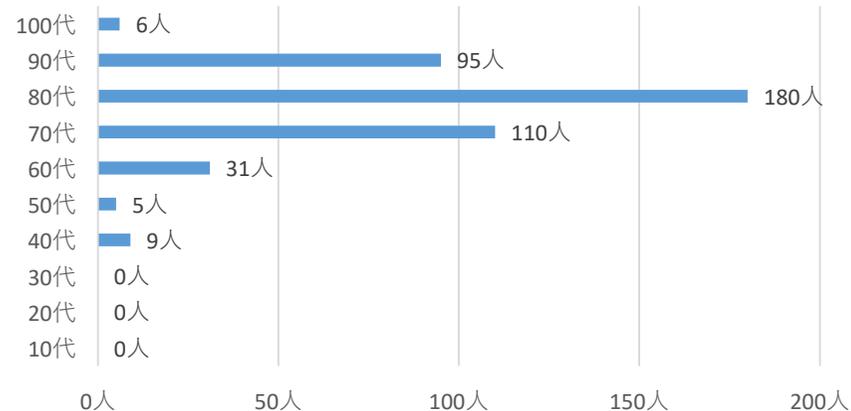
### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける年代別の患者数を表しています。

### 計算式

年代別入院患者数

年代別入院患者数 (単位：人)



### 考察

高齢化率の高い地域性を反映して、70歳代以上が約8割を占めています。

## 15 入院患者居住地

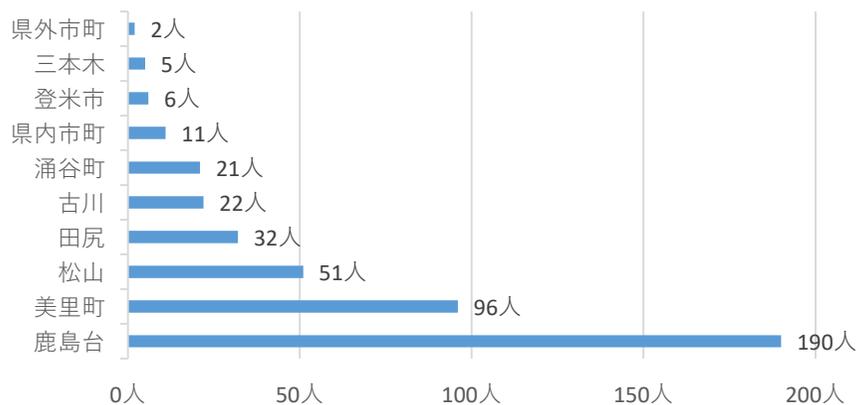
### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける居住地別の患者数を表しています。

### 計算式

居住地別入院患者数

居住地別入院患者数（単位：人）



### 考察

約4割が鹿島台地域です。近隣地域（松山・田尻・美里町・涌谷町）を含めると85%以上を占めています。かかりつけ医として、地域住民の受入れを積極的に行っています。

## 16 入院目的別

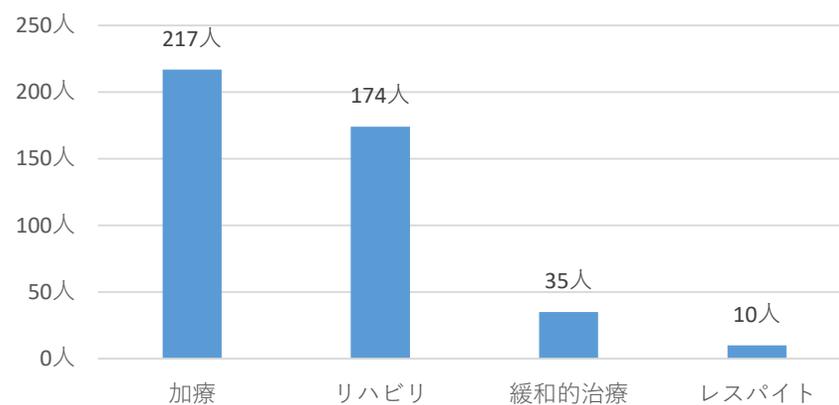
### 指標の説明

当院に入院された患者さんにおける目的別の患者数を表しています。

### 計算式

入院目的別の入院患者数

入院目的別（単位：人）



### 考察

「加療」と「リハビリ」が入院の主な目的となっています。病状やご希望に合わせた療養ができるよう、多職種でサポートしています。

## 17 退院サマリー作成率

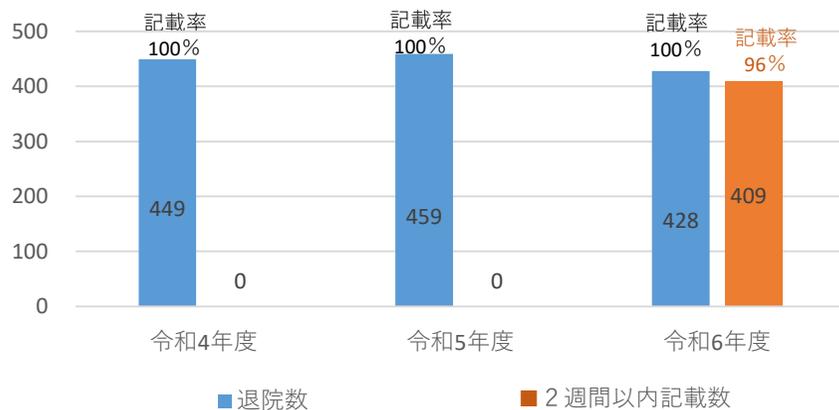
### 指標の説明

退院サマリーとは、診療記録のひとつで、入院患者さんの入院から退院までの治療内容と経過等を要約し、医師が作成する書類です（英語で要約のことをサマリーといいます）。

### 計算式

サマリー作成数÷退院数

### 退院サマリー記載率



### 考察

令和6年度は、退院サマリー記載率100%、2週間以内の退院サマリー作成率では96%となっております。

令和7年度では、量的点検を取入れながら、2週間以内の退院サマリー作成率100%を目指します。

## 18 病院満足度

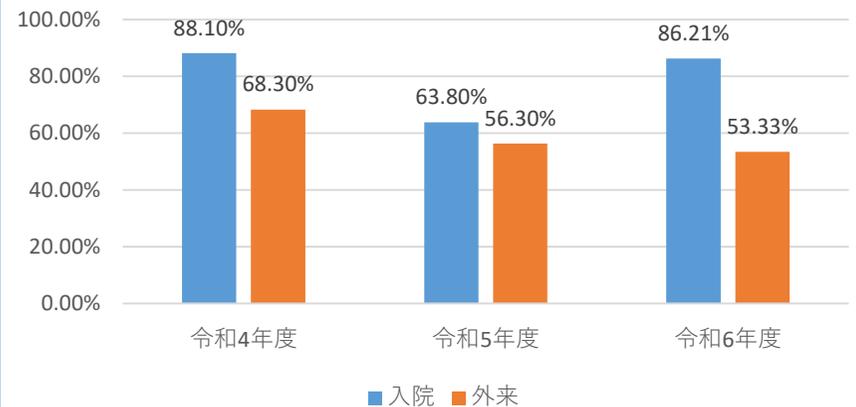
### 指標の説明

患者や患者家族を対象に施設や設備、受付、会計、医師をはじめとしたスタッフの言葉づかいや態度等、診療全般に対する満足度調査において、その有効回答のうち、「満足」「ほぼ満足」と回答いただいた数の割合を表しています。この調査では、満足度を5段階評価で調査しています。

### 計算式

入院：「満足」「ほぼ満足」と回答した人数÷有効回答者数  
 外来：「満足」「ほぼ満足」と回答した人数÷有効回答者数

### 患者満足度（単位：%）



### 考察

入院では、いただいたご意見の半数以上が感謝のお言葉でした。しかし、接遇面や病棟の設備・清掃等に関するご指摘もあり、改善に努めているところであります。

外来では令和5年度同様、待ち時間に関する苦情が多く寄せられました。令和7年度は、紹介患者にも予約制を導入し、予約診療の割合を増やすことで、待ち時間の短縮を図ってまいります。

## 19 身体拘束実施率

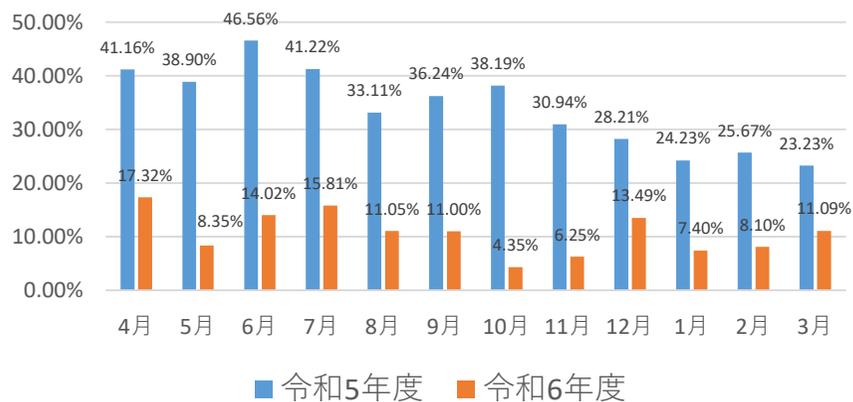
### 指標の説明

身体拘束は人間の尊厳に係わる重大な問題であることを認識したうえで、安全確保のためにやむを得ない場合の対応です。入院患者延患者数のうち身体拘束を実施した患者延べ数の割合を示します。より低い値が望ましい値になります。

### 計算式

身体拘束を実施した患者延べ数 ÷ 病床入院延べ患者数

身体拘束率（単位：％）



\* 同機能病院 実績値 R5年10月～12月 10.89%

### 考察

身体的拘束最小化チームの設置により、身体拘束に対する職員の意識が変化し、拘束率が令和5年度の3割以下に低下しました。やむを得ず拘束を実施する場合には、必要性について多職種で検討し、速やかな拘束解除に努めております。

## 20 転倒転落発生率

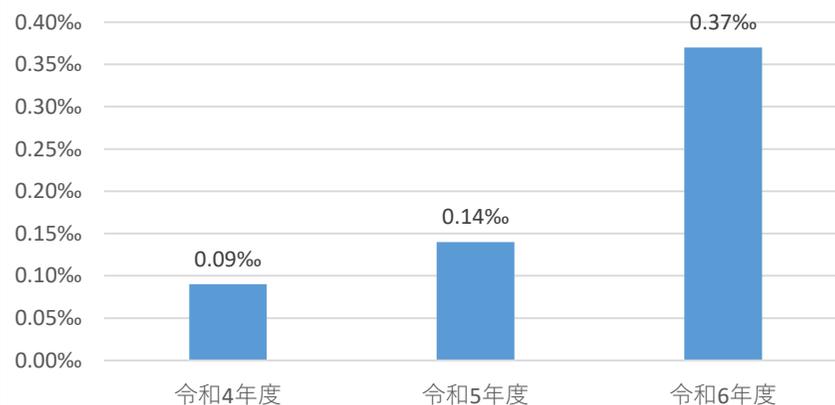
### 指標の説明

入院患者が転倒・転落した場合の発生の程度を表しています。

### 計算式

入院患者に発生した転倒転落の件数(レベル1～5の合計) ÷ 入院患者延べ人数 × 1,000(‰)

転倒転落率（単位：‰）



### 考察

身体拘束数の減少により、転倒転落の発生が増加したものと考えます。入院時より転倒転落の危険度評価を実施し、患者・家族の協力も得ていますが、さらに防止出来るよう、患者個々の状況にあった対応を実施してまいります。

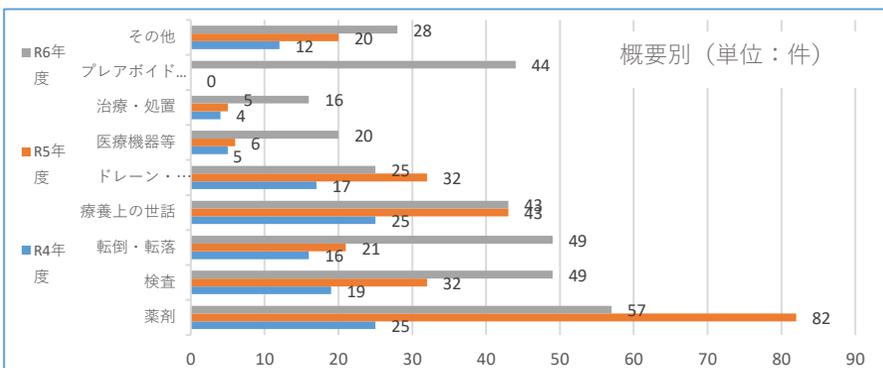
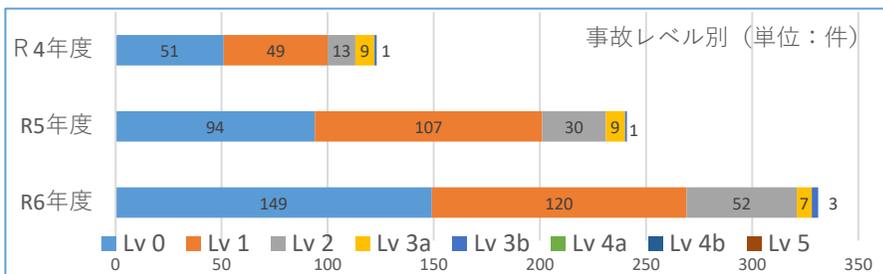
## 21 インシデントレポート提出数

### 指標の説明

1年間に医療安全管理室へ提出されたインシデントレポートの数

### 計算式

提出されたインシデントレポートをレベル・概要毎に単純集計



### 考察

令和6年度のインシデントレポートの提出数は、過去3年間で一番多くなりました。中でもLv0~2までの「ヒヤリハット」レベルのレポートが多く見受けられました。この数字は、職員が安全な医療を提供するための「安全文化」が少しずつ根付いていると考えられます。これからも引き続き、安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

## 22 褥瘡推定発生率

### 指標の説明

入院中に新しく褥瘡発生した患者数の割合を評価しています。発生がなければ低い割合となります。

d 1 : 皮膚が発赤の状態で見え、d 2 : 皮膚が破綻して真皮までの状態での発見

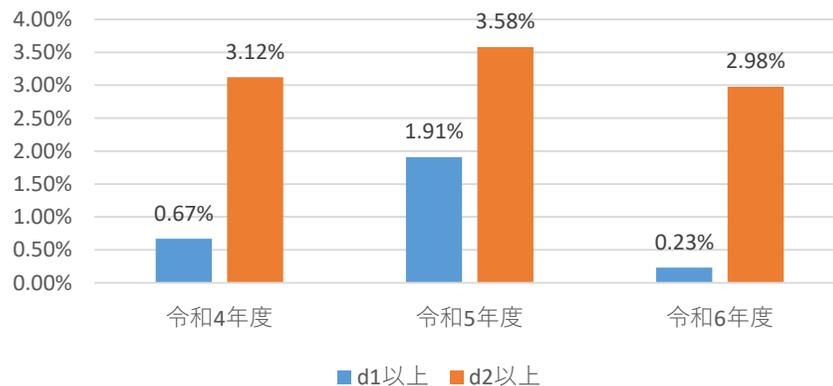
\*看護協会DINQLと同様の評価方法

### 計算式

褥瘡推定発生率 :  $A \div B \times 100$

A: 1年間で新規の褥瘡を生じた患者数 B: 1年間の病棟の実入院患者数

### 褥創発生率 (単位: %)



\*全国の平均値 (R4年) : 0.05% (d 2以上)

### 考察

褥瘡発生率は低下傾向にあるものの、全国平均と比較するとまだまだ高い状況です。ただし、発生した褥瘡の多くは入院中に治癒しており、改善率も高いことがわかります。

今後は、リスク評価と対策を強化し、発生率のさらなる低下に努めてまいります。

## 23 褥瘡改善率

### 指標の説明

入院中に新しく褥瘡発生した患者数のうち改善した件数を表しています。

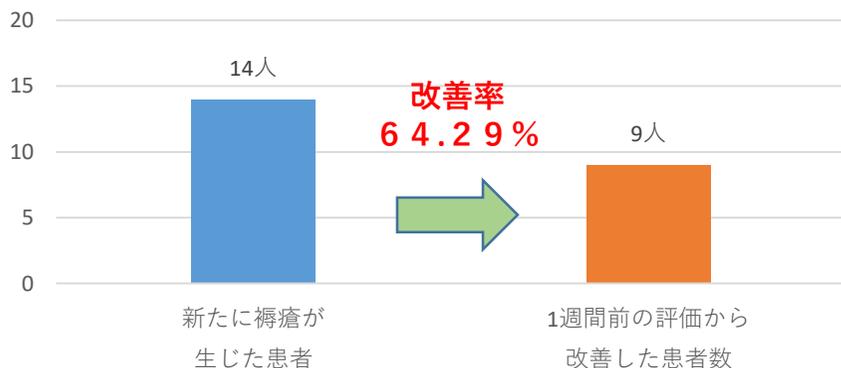
### 計算式

新規発生した褥瘡の改善率 =  $A \div B \times 100$

A : 1週間前の評価から改善した患者数

B : 病棟で新たに褥瘡が生じた患者

褥創改善率（単位：人・％）



### 考察

褥瘡を発生した患者14人中9人が入院中に治癒しています。治癒しなかった5人中4人は死亡患者、1人は他院へ転院した患者でした。

## 24 栄養指導件数

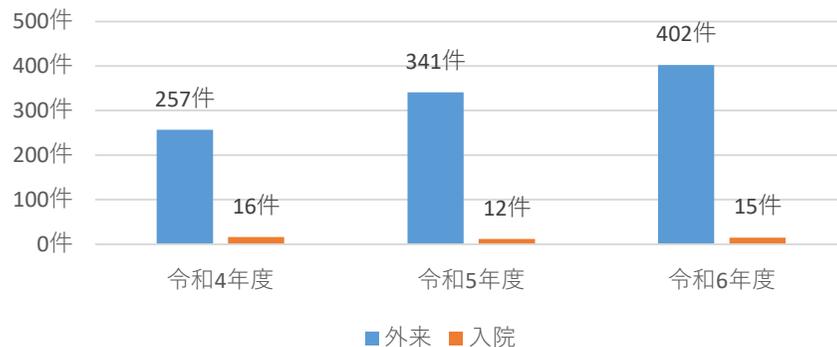
### 指標の説明

外来受診患者へ栄養指導を実施した件数及び入院患者へ栄養指導を実施した延べ件数を表しています。

### 計算式

入院指導件数 + 外来指導件数の合計  
(非算定を含む)

栄養指導件数（単位：件）



### 考察

令和6年度は、年間を通して個人栄養指導や糖尿病集団教室(外来)を実施することができました。これにより、前年度を上回る実績となっております。

令和7年度も、個人栄養指導・集団教室ともに、より多くの必要な患者さんに適切な栄養指導を受けていただけるよう、多職種と連携し、取り組んでまいります。

## 25 薬剤管理指導数

### 指標の説明

入院患者さんの使用している薬について、患者や家族などに薬剤師が説明を行った件数を表しています。

### 計算式

薬剤管理件数の合計

服薬指導件数+介入件数（単位：件）



### 考察

令和5年度より入退院時の薬剤師による面談及び薬剤指導の介入を開始したことにより、薬剤管理指導件数+介入件数は増加する結果となりました。

令和7年度も継続して薬剤師が介入し、丁寧な説明と指導を心がけ取り組んでまいります。

## 26 検査件数

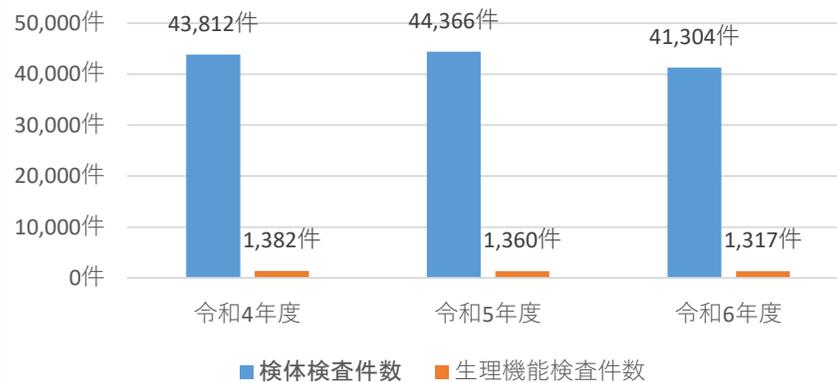
### 指標の説明

外来及び入院患者に対して検査した件数を表しています。

### 計算式

検査件数の合計

検査件数（単位：件）



### 考察

令和6年度は検体検査、生理機能検査共に検査件数が減少という結果になりました。前年度よりもコロナ・インフルエンザ迅速検査の依頼が減少したことが、検査件数に影響したと考えております。

今後も引き続き、迅速かつ正確な検査結果の提供を心がけ業務に取り組んでまいります。

## 27 放射線撮影件数

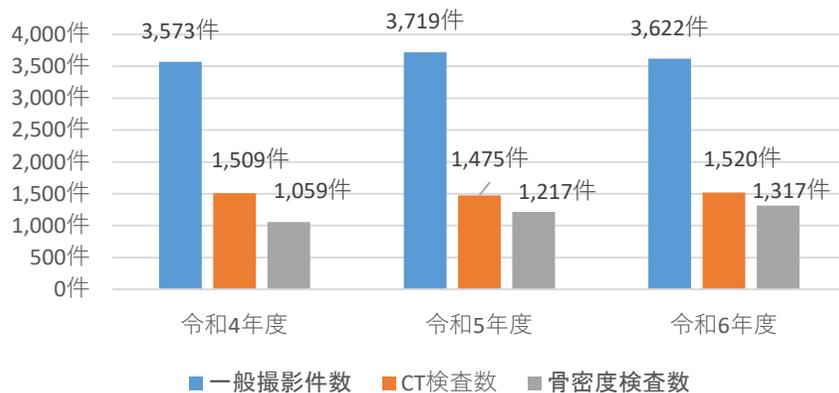
### 指標の説明

外来及び入院患者に対して撮影した件数を表しています。

### 計算式

一般撮影・CT撮影・骨密度撮影件数の合計

放射線検査数（単位：件）



### 考察

令和6年度は、一般撮影件数は前年度より減少し、CT検査数は前年度よりも増加しております。骨密度測定検査の件数は、右肩上がり増加しており、「鹿島台分院だより」による広報活動と医師を中心としたリエゾンチームによる活動によるものと考えます。

令和7年度も骨密度検査装置を含め各種検査の精度向上により、さらなる検査件数の増加に努めてまいります。

## 28 入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数

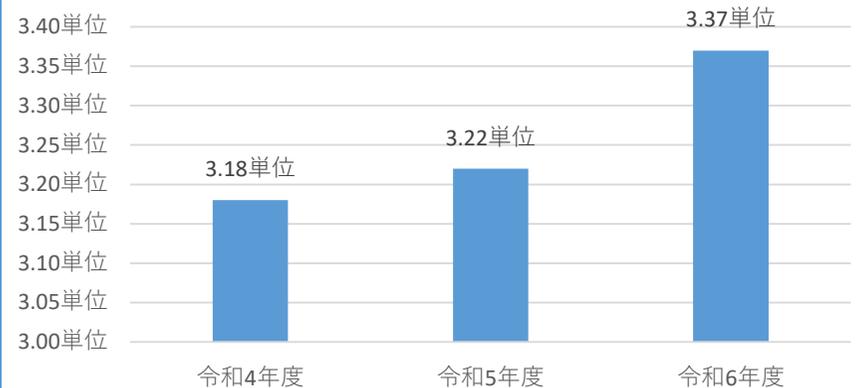
### 指標の説明

入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数を表しています。

### 計算式

入院患者1人1日当たりのリハビリ実施単位数の平均値

提供単位数



### 考察

地域包括ケア病棟リハビリ単位基準(365日換算)が2単位以上となっており、実働換算では1日当たりの介入として3単位以上を確保しております。

今後も引き続き、適切な介入とより充実したリハビリを提供し、在宅復帰に向けて支援してまいります。

## 29 紹介患者数

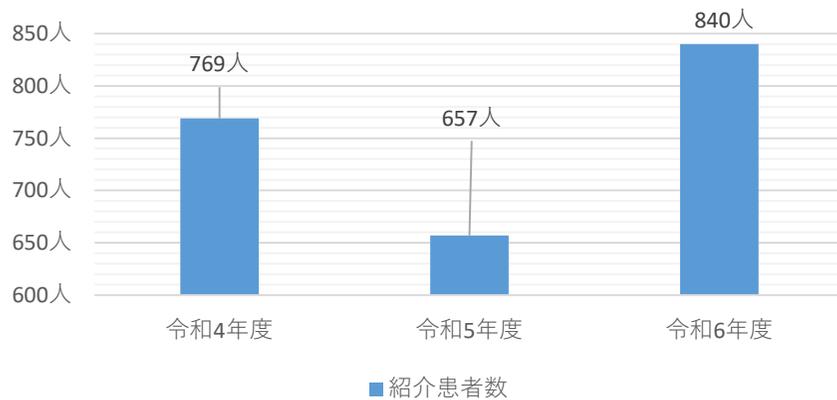
### 指標の説明

他医療機関から当院に紹介された患者数を表しています。

### 計算式

紹介患者数の合計

紹介患者数（単位：人）



### 考察

内科（入院・外来）と整形外科（入院）の紹介が大きく増加しています。鹿島台地域を始め、近隣地域の医療機関から幅広くご紹介を頂いています。

## 30 レスパイト入院件数

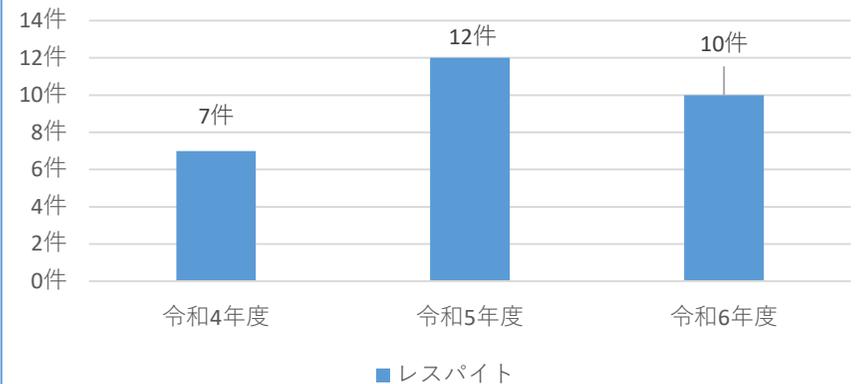
### 指標の説明

在宅で介護を受けている方やご家族・介護者の休養を目的とした短期入院の件数です。介護者の事情等により一時的に自宅での療養継続が困難となった場合にもご利用いただけます。

### 計算式

レスパイト入院件数の合計

レスパイト入院件数（単位：件）



### 考察

居宅介護支援事業所や在宅療養支援診療所から多くのご紹介を頂いています。急なご希望にもできる限り迅速にお応えするよう努めています。ご利用後にスムーズに在宅療養が再開出来るよう関係機関と連携して支援しています。

## 3.1 地域連携への取組み

### 指標の説明

地域連携による在宅医療支援体制の強化として、以下の取組みを実施

- 顔の見える関係構築：1年間に地域の研修会へ参加した件数・人数
- 協力施設との連携強化：協力施設との会議・カンファレンス回数

### 計算式

地域の研修会への参加人数と  
協力施設のカンファレンス実施回数を単純集計

#### 顔の見える関係の構築



#### 協力施設との連携強化



### 考察

令和6年度は、患者さんにとってより良い医療・介護を提供するための体制づくりとして、地域研修会への積極的参加や協力施設との定期的カンファレンスを開催し、「顔の見える関係」の構築、「協力施設との連携強化」に力をいれてきました。

令和7年度も、「ときどき入院ほぼ在宅」という、患者さんが住み慣れた地域で安心して療養できる支援体制の構築に貢献してまいります。

## 3.2 訪問診療件数

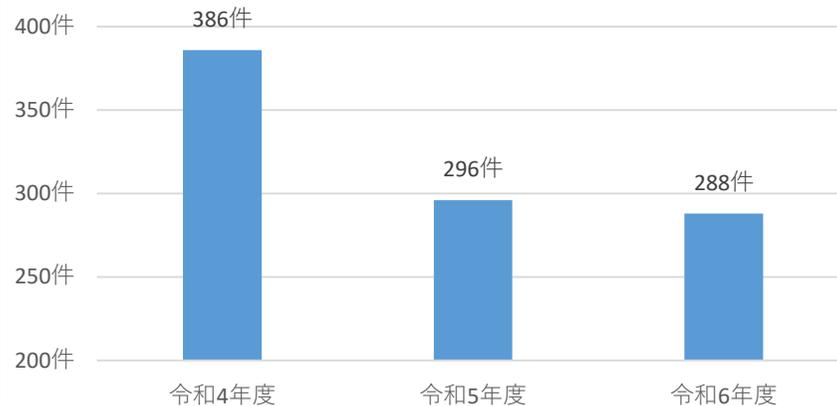
### 指標の説明

訪問診療の実績件数を表しています。

### 計算式

訪問診療実施件数の合計

#### 訪問診療件数（単位：件）



### 考察

令和6年度も前年度より訪問件数が減少しました。これは、在宅療養で終末期を希望される方が、24時間の訪問診療を希望し、他機関へつないだ結果と考えます。

令和7年度はオンライン診療の開始を予定しております。利用者が診療方法を選択し、かつ他の医療機関と連携を図りながら訪問診在宅療養支援を実施してまいります。

### 33 訪問看護件数

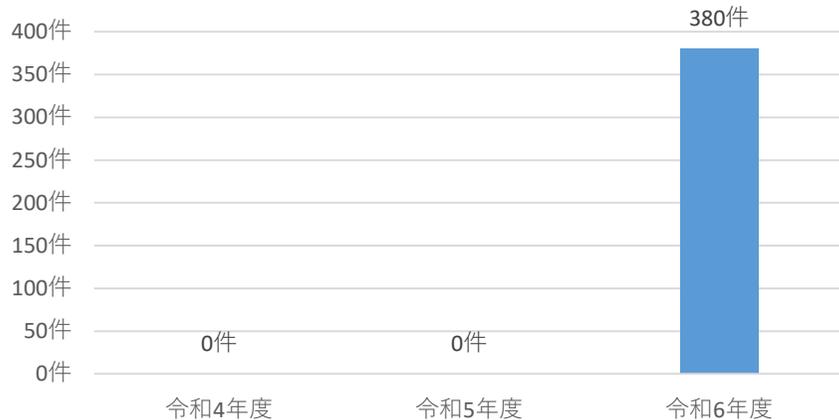
#### 指標の説明

訪問看護の実績件数を表しています。

#### 計算式

訪問看護実施件数の合計

訪問看護件数（単位：件）



#### 考察

令和6年度より開始した訪問看護の実績は380件と開始当初の目標を上回ることが出来ました。

令和7年度も引き続き、「介護予防」「見守り」を実施しながら、地域の居宅支援事業所との連携を図りつつ、住み慣れた地域で暮らせるよう在宅支援に努めてまいります。

### 34 訪問リハビリテーション件数

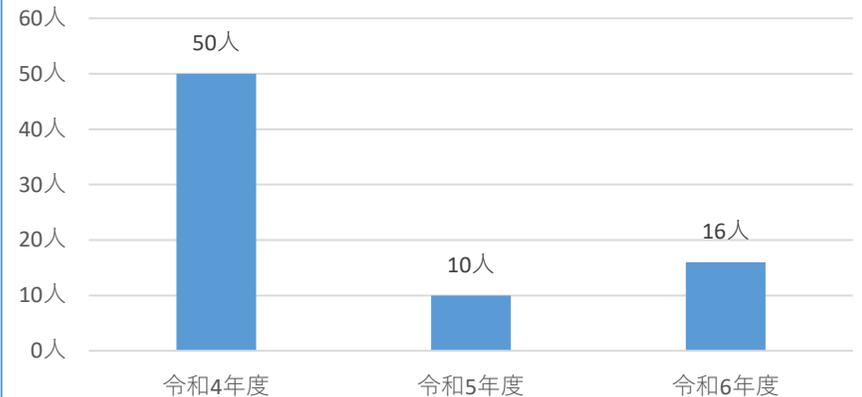
#### 指標の説明

訪問リハビリテーションの実績件数を表しています。

#### 計算式

訪問リハビリテーション実施件数の合計

訪問リハ件数



#### 考察

多くの患者さんが入院期間中に必要なリハビリテーションを終え、自宅等に復帰しております。退院後も継続してリハビリテーションが必要な患者さんには、1週間に1回程度訪問し退院後の環境調整や生活指導等を実施しております。

今後も安心して在宅生活を送れるよう、継続して訪問リハビリテーションに取り組む、支援してまいります。